

少年消防クラブ指導課程の基準

中学校全学年

指導内容	実施事項
・火災の概要について	・火災の実態を知る。
	・火災の種類、出火原因、損害額について調べ、火災の発生状況を知る。
	・火災による死者の死因を調べる。
・火災予防について	・火災予防を前提に、火災予防運動、消防出初式、文化財防火デー、119番の日、防災の日、防災週間、防災とボランティアの日、防災とボランティア週間の関連知識について知る。
	・防災製品や安全装置の特徴についての基礎知識を身に付ける。
・火災の発見、通報について	・住宅用火災警報器の設置場所や種類を調べる。
	・火災の発見、通報に関する消防用設備等として、消防機関への通報設備（自動火災報知設備等）の種類や特徴について調べる。
・初期消火について	・消火の原則（冷却、窒息、除去、希釈消火）を知る。
	・消火器以外の消火設備の種類、特徴を知る。
・避難行動について	・居住する地域で起こり得る災害を調べ、避難場所を知る。
	・避難口誘導灯の種類等について調べる。
	・老人、身体の不自由な方が災害現場から早く避難するための手助けができるような知識を身に付ける。
	・避難所での活動に協力できる知識を身に付ける
・消防業務について	・職場体験を通じて、防災に関わる業務を知る。
	・応急手当など災害時、人の役に立つ知識を身に付ける。